

小児保健研究

The Journal of Child Health



＜健全な社会に向けての小児保健＞

目次

| | | | |
|--------------------|---|---------|-----|
| 提言 | 一心から身体へ、身体から心へ | 川井 尚 | 123 |
| 第52回 日本小児保健学会 (山口) | 会 頭: 古川 清 | | |
| | と き: 平成17年10月6日(木)・7日(金)・8日(土) ところ: 海峽メッセ下関 | | |
| 研究 | (講演内容論文の目次は本誌124頁に掲載) 先天性心疾患児を持つ両親の抱く「罪責感」と「親としての変化」との関連 | 白石 裕子 他 | 230 |
| | 入院中の子どものストレスとその緩和のための援助についての研究 | | |
| | 第3報—入院児のストレスに関するインタビュー調査— | 山崎 千裕 他 | 238 |
| | 中学生の日常的ストレスにおけるレジリエンスの意義 | 長田 春香 他 | 246 |
| | 養護学校における医療的ケア必要児の健康支援を巡る多職種間の役割と協働 | | |
| | —看護婦・養護教諭・一般教職員の役割に関する | | |
| | 現実認知と理想認知— | 丸山 有希 他 | 255 |
| | 親の接する態度が慢性疾患児のパーソナリティに及ぼす要因分析 | | |
| | —親の養育態度と慢性疾患児のエゴグラムとの関係— | 小林八代枝 | 265 |
| | 気管支喘息学童の学校生活 第8報 | | |
| | 大阪市における思春期喘息患者のアドヒアランス向上に関する試み | 堀内 康生 他 | 273 |
| | 現代の子どもの発達の特徴とその加齢に伴う変化 | | |
| | —1983年および2001年のK式発達検査の標準化資料の | | |
| | 比較による検討Ⅱ— | 郷間 英世 | 282 |
| | 幼児期における筆記具操作発達と精神発達との関連 | 尾崎 康子 | 291 |
| | 子どもの病期認知における発達の变化 | 石川 慶和 他 | 298 |
| | 産後3ヵ月における母親意識の構造と育児状況に関する要因との関連 | 榮 玲子 | 306 |
| 報告 | 母親がNICUで感じるストレスとその影響要因の検討 | 中澤 貴代 他 | 314 |
| | 市町村保健師の乳幼児健康診査における養育問題把握方法と内容 | 宮本 知子 他 | 322 |
| | 津守・稲毛式による現代っ子の発達の特徴 (第1報) | | |
| | 1961年、1989年と比較して | 秋山千枝子 他 | 331 |
| | 津守・稲毛式による現代っ子の発達の特徴 (第2報) | | |
| | 発達経過による類型化 | 堀口 寿広 他 | 338 |
| | 埼玉県内の医療機関における児童虐待に関する実態調査 | 板倉 敬乃 他 | 344 |
| | 保育所における搾母乳の取り扱い | | |
| | 神奈川県内市町村へのアンケート結果より | 大山 牧子 他 | 348 |
| | 地域産育センター通園施設利用児の多様化について | 北村由紀子 | 357 |
| | 放課後児童健全育成事業の課題—保護者へのアンケート調査から— | 谷本 弘子 他 | 363 |
| | 新型インフルエンザをめぐって | 三田村敬子 | 369 |
| | 平成17年度小児保健協会活動助成 | | 374 |
| | 平成17年度小児保健協会活動助成 —研究助成、実践活動賞受賞報告— | | 376 |
| | 189, 226, 372, 373 | お知らせ | 382 |

巻頭・子夜雑感 (2006年)
研究助成・授賞報告
受賞報告
会合案内

第53回 日本小児保健学会 第3報

第23回 小児保健セミナー

DENVER II—デンバー—発達判定法—講習会

社団法人 日本小児保健協会

The Japanese Society of Child Health, Tokyo